

2021/4/23

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 125

市ヶ尾中Times

祝！入学・進級号

<学校教育理念>

自立貢献

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

発行者：校長 竹下 恭子

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

令和3年度もチーム「市ヶ尾中」で取り組みます

校長 竹下 恭子

4月7日、新入生と新しい教職員を迎え令和3年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましてはお子様のご入学、ご進級おめでとうございます。また、昨年度は新型コロナウイルス感染症防止対策に係る様々な対応にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

先日の入学式で新入生の皆さんに『いろいろなことに興味をもって取り組み、学ぶこと』『自分自身を大切にしながら、他人とつながること』を大事にしてほしいと伝えました。限られた中学校の3年間で、自分自身が興味をもって取り組むことで得られることがたくさんあります。学びきっかけやチャンスを逃さず、まずは「知ること、興味や関心をもつこと」で自分自身を磨いてほしい。そして、この3年間で自分自身の存在を大切にしてほしい。自分とは異なる他人の考えを発見したり、共感したり、疑問に思ったりしながら、人とのつながりや関わりを大事にして学校生活を過ごしてほしい。この2つをお話しました。

本校の教育理念は『自立貢献』、学校教育目標は『自分で解決する力』『心豊かに生きる力』を大切にします。 「一人ひとりが自分の考えを持ちつつ、様々な価値観を互いに認め合い、ともに支えあうことができる子ども」の姿を目指し、様々な教育活動で子どもの力が発揮できるよう、教職員一丸となり、取り組んでまいりたいと思っております。また、地域の皆様とのつながりを大切にして、地域社会の見守りの中で生徒の成長を促し支えていけるように励んでまいります。令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします。

よろしく願いいたします

副校長 戸田 緑

前任の田上先生の転勤に伴い、都筑区中川西中学校より市ヶ尾中学校の副校長として着任いたしました戸田 緑（とだ みどり）です。明るく元気で意欲的な生徒が学び、ESDをはじめとするいろいろな取り組みを行っていること。保護者の皆さま、PTAの方、地域の方、近隣の企業の方から本校の教育活動に力強いご支援をいただいていることなどなど。市ヶ尾中学校は大変良い学校である、と周囲の方々が異口同音に私に教えてくれました。早く市ヶ尾中に慣れ、皆様と共に力を合わせて、充実した中学校生活を子どもたちが送ることができるように全力でサポートしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さまざまな行事が動き始めました

始業式、入学式、対面式、新入生を歓迎する対面式、生徒会オリエンテーション、部活動オリエンテーション、健康診断、そして先日の保護者懇談会等。4月に予定をしていた行事をほぼ予定通りに開催することができました。まん延防止等重点措置が発出され、コロナ禍である現状は今年度も変わりませんが、生徒の皆さんもそれぞれに新しく始まる1年に希望や目標を持って新学年をスタートすることができているように感じます。令和2年度の卒業生が残していった「市中のバトン」のメッセージを今年はどうような場面で発見することができるのか、とても楽しみです。今年も「できること」を少しずつ、歩みを進めてまいります。



令和3年度の市ヶ尾中学校・学校経営重点目標

◎昨年度までの取組を継続しながら、次のことを重点目標として掲げています。

- 1 ユネスコスクールとして、ESDの視点を重視する教育活動を展開し、「つながり」「かかわり」を尊重できる個人を育みます。

各教科等の授業を含む様々な教育活動においてESDの視点を取り入れ、SDGs17の目標達成を意識した持続可能な社会の実現と望ましい生き方についての理解を深めていきます。生徒会委員会活動・文化学習発表・平和学習・人権特設授業等を通して、多様性を認め合い人権を尊重する心を育みます。

- 2 義務教育9年間で育てる子ども像を大切に、生徒の学習意欲を高め、生徒が主体的に考え、社会とのつながりを大切にしたい授業の実践を目指します。

小中一貫教育推進ブロックでは9年間で育てる子ども像として「多様性を認め合い、共に支えあうことができる子ども。笑顔と挨拶があふれる子ども」を掲げています。9年間の学びを意識し、生徒の将来を見すえ、社会に出た時に日常の学習がどのように結びつくかを考えた社会課題に目を向け解決を目指す教育を進めます。「主体的・対話的で深い学びの実現」を意識した授業、ICTを活用した教育活動の展開や授業を行うことにより学びの質を高めます。

- 3 「学習ルーム」を中心に、特別支援教育に力を入れます。

「学習ルーム」の持続可能な運営を今後も継続させていくための教職員の配置や、ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境作り、授業を展開することにより、生徒一人ひとりの個性や特性に合わせた学習を進めます。また、保護者と連携を図りながら、状況に合わせた個別の教育支援計画や指導計画をもとに学習活動を展開します。

<お知らせ>

今年度の「セクシャル・ハラスメント相談窓口」について

校内相談窓口は、鈴木一史（生徒指導専任）と渡邊美香（養護教諭）です。

教育総合相談センターも相談窓口として利用できます。

電話：045-671-3726 月～金 9:00～17:00（祝日・振替休日を除く）

